

平成25年5月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 平成25年5月22日（水）午後3時30分～午後4時13分

2 場 所 所沢市役所6階 602会議室

3 出席者〔委員〕 富田常世委員長、京谷圭子委員長職務代理者、吉本理委員、中川奈緒美委員、内藤隆行委員、佐藤徳一教育長

〔事務局〕 平野澄彦教育総務部長、川音孝夫学校教育部長、斉藤雅裕教育総務部次長、齋藤敏男学校教育部次長兼学校教育課長、北健志教育総務担当参事兼教育総務課長、北田賢司教育施設担当参事兼教育施設課長、横須賀邦子教育センター担当参事兼教育センター所長、浅野浩一社会教育課長、内堀耕介スポーツ振興課長、富田一成文化財保護課長、比留間嘉浩生涯学習推進センター所長、岸企子所沢図書館長、師岡林保健給食課長、市川雅美教育総務課主幹兼教育企画室長、沼田芳行学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長、鈴木実スポーツ振興課主査

〔書記〕 鈴木明彦教育総務課副主幹、青木穂高教育総務課主任

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 なし

6 開 会 本日の議案は、議案第4号の1件。

7 議 題

- 議案第2号 所沢市スポーツ推進審議会委員の解嘱及び委嘱について資料に則り、内堀スポーツ振興課長から説明がなされた。
質疑は特になし。

※富田委員長の採決により、出席委員全員が賛成し原案どおり可決された。

8 協議事項 なし

9 報告事項

○所沢市教育委員会後援等名義使用許可について（教育総務課）

○所沢市教育委員会の5月から8月までの主な行事予定について（教育総務課）

以下、質疑。

（富田委員長）

後援等名義使用許可について、申請のうち却下された件数はどのくらいあって、どうして却下されたのか、教えていただきたいと思います。

（北教育総務担当参事）

昨年度につきましては、却下された件数は2件あったと思います。その理由につきましては、営利を目的としたもの等が中心になっていたと思います。

（富田委員長）

無料の行事ばかりではなく、営利かどうかの判断は難しいと思いますが、どのように判断しているのでしょうか。

（北教育総務担当参事）

所沢市教育委員会後援等名義等使用許可に関する取扱要綱というものがございまして、この中で許可基準といたしまして、市民福祉の増進に寄与すると認められている事業、広く一般市民を対象とする事業、原則として所沢市内で開催する事業、ただし市民の幅広い参加が期待できる事業又は所沢市のイメージアップを目的とする事業である場合は、この限りではないとなっております。そして、参加費、入場料等が無料である事業又はその額及び目的が社会通念上適当であると認められる事業は許可されております。許可しない事業につきましては、政治活動又は宗教活動を目的とする事業、営利又は商業宣伝を目的とする事業、公序良俗に反する事業又はそのおそれがある事業、その他後援名義の使用を許可することが不相当と認められる事業、この4つに該当する場合は使用許可しないということとなっております。各々、ケースバイケースで判断させていただいているということでございます。

（内藤委員）

7月1日、2日に行われる予定の「心の劇場 劇団四季ミュージカル」という事業について、事業内容を説明願います。

（沼田学校教育課主幹）

心の劇場は平成21年に劇団四季からの提案により開始しまして、今回が5回目でございます。各日、2回の公演があり、各小学校の6学年の児童全員を対象とした無料の公演会でございます。今年は「桃次郎の冒

険」というミュージカルを、上演していただけるそうです。

(京谷委員長職務代理者)

医師会と調整して行う事業がいくつかあると思いますが、主な行事予定が記載されている一覧表には記載されておらず、内容等はまだ公表されていないのでしょうか。それとも、この一覧表には教育委員会主催事業のみ載せてあるのでしょうか。

(北教育総務担当参事)

一覧表のうち後援等名義につきましては、教育委員会に対して申請を出してきたものの一覧でございます。主な行事につきましては、教育委員会主催の他、学校や団体、実行委員会がそれぞれ主体としてやっているものもこの一覧表に載せております。

(京谷委員長職務代理者)

医師会では、「子どもの心・心理について」という講演会を教育委員会と共催で行なうかどうか、ということ協議しているところですが、子どもの心理、心というのはとても大事なことであり、できれば教育委員会の方々と一緒にやっていただきたいと思います。この事業については、まだ正式に決まっていないのでしょうか。

(北教育総務担当参事)

現在、学校教育課に書類等がございまして、決裁が回っている状況でございます。

(吉本委員)

日本子育て学会は、どういう組織なのか教えていただきたいと思います。また、先ほどの劇団四季の公演は無料公演ということですが、諸費用は劇団四季が負担しているのか、それとも児童が負担すべき費用を教育委員会で負担しているのでしょうか。

(浅野社会教育課長)

子育て学会は、早稲田大学人間科学学術院教授の青柳肇氏を理事長とした団体でございまして、今回の申請は市内の光輪学園三ヶ島幼稚園の喜多濃園長が代表となっております。会則では、事務局は早稲田大学人間科学学術院に置くとされ、子育てに関する様々な取り組みをされているということです。理事長は青柳肇氏、事務局長は日本教育専門学校の寺澤美彦氏、その他、埼玉大学の方、三ヶ島幼稚園長、白百合女子大学等研究者の方が主に会員となっている組織です。

(齋藤学校教育部次長)

心の劇場の費用負担については、劇団四季が負担しております。ミュージズの協力を得て、3年前までは3日間の公演でしたが、昨年から震災の

関係で1日分は東北地方での公演にするため、2日間の公演になりました。2日間で計4回の公演をしていただきますが、会場の学校割振り等は学校教育課が担当して行なっております。

(中川委員)

行事について、後援名義については毎年同じような団体が申請してきていると思いますが、後援すべきか主催すべきか等を、毎回検討し直していただきたいと思います。何となく去年やっていたからやるというやり方は、続けていただきたくないと思います。

(佐藤教育長)

先ほどの劇団四季に関しまして、以前は歌舞伎を生徒に無料で見せておりました。また、東京フィルハーモニーをミューズに招いて、生の演奏を直接聴くという行事が数々あったのですが、予算規模を縮小していくことによって、これらの行事が無くなってしまいました。その中で、劇団四季から無料公演の話を持ちかけられて、本市としては全面的にそれに参加したいということで、この事業が始まりました。内容的には非常に良いものであり、児童の目がミュージカルに釘付けになっており、これは効果があると感じています。

(吉本委員)

劇団四季のように他の民間企業の中でも、地域や子どもたちを支援していくような事業を持っている企業もあると思います。そういう企業に知人がいれば、窓口になっていきたいと思います。

(京谷委員長職務代理者)

群馬県では、県内全ての学校に群馬交響楽団が訪問して、体育館等で演奏を聴かせるような事業がありますが、埼玉県や所沢市ではそのような取り組みはあるのでしょうか。

(齊藤教育総務部次長)

オーケストラということになりますと、埼玉県内で群馬交響楽団のように活動しているオーケストラはないと思います。所沢市内では、教育委員会と共催で秋に小中学校を訪問する吹奏楽団やオーケストラがあり、目の前で演奏を聴いてもらい、音の振動が体に伝わってくるということに子どもたちが感激し、演奏する側も励みになるということで、とても有意義であると感じています。

(齋藤学校教育部次長)

10月19日に所沢フィル親子音楽鑑賞教室を行う予定です。また、11月10日、17日に市民吹奏楽団の親子音楽鑑賞教室があり、体育館等で保護者と子ども達と一緒に生の演奏を聴くというような事業を行な

っております。

(横須賀教育センター担当参事)

小学校では、音楽鑑賞と劇を見る芸術鑑賞会を、隔年交代で年間を通じて行なっております。

(富田委員長)

県の消防音楽隊の学校訪問を申し込んでみるのもいいと思います。また、以前、有名な音楽家が学校の音楽室で演奏をしてくれて感激した経験がありました。ミューズの事業の1つであったと思いますが、現在でも行なっていますか。

(斉藤教育総務部次長)

現在でも行なっており、有名なピアニストがミューズでの公演に合わせて、各学校を回って演奏をしてくれています。8、9年ほど前から行なっています。また、学校のほか公民館などで行なっており、ピアニストに限らずいろいろな演奏家の方に来ていただいております。

(富田委員長)

ミューズで演奏を聴くのもいいですが、音楽室で聞くと親近感があって、児童が演奏者に質問するなど、目を輝かしていました。身近でプロの演奏を聴くというのは、効果があると実感しました。

(中川委員)

6月に航空公園の野外ステージでポリスコンサートが行なわれますが、それには主催者側から申請がないと、教育委員会の後援はできないのでしょうか。私としてはとても応援したいと思っています。

(北教育総務担当参事)

後援等名義申請につきましては、相手からのアプローチ待ちとなっておりますので、是非申請をご推奨いただきたいと思います。

(中川委員)

4、5月はアウトドアにとってもいい季節ですが、アウトドアのイベントが後援等名義使用許可の一覧表には1つもないように思われます。所沢は緑に恵まれていますので、街を知るといような経験ができるイベントがあるといいと思います。アウトドアのイベントについて、申請はあるが却下しているという事例はありませんか。

(浅野社会教育課長)

4月の上旬に文化フェアが行なわれまして、社会教育課で後援等名義申請を受けました。また、4月27日には西武園で写生大会が行なわれました。これは、教育委員会と実行委員会との共催事業でございますが、既に実施した事業であり、今回の主な行事予定の一覧表には載っております。

ません。

10 その他

・その他の事項について、質疑。

(内藤委員)

全国学力テストの採点、集計業務は各学校で行うのでしょうか、あるいは業者が行なうのでしょうか。また、そのテストを受けた後、答え合わせをするというようなアフターケアをするなど、教育的な活用をしているのか、それとも単なる行政情報として集計しているのか、説明してください。

(川音学校教育部長)

採点業務については、外部の文部科学省が指定するところで行ないます。2点目の答え合わせ等アフターケアについて、その問題あるいは解答の仕方を、直接触れることはありません。ただし、傾向等を受けて分析した上で、授業の中に活かすというような、指導方法の検証はしております。

(齋藤学校教育部次長)

全国学力・学習状況調査の他、県や市で行っている学力調査があります。各学校を指導担当訪問ということで2年に1回訪問していますが、その際には学校の教科ごとの項目別の状況などを分析して、それを基に指導方法を検討していくことを行っています。全国学力・学習状況調査においては、それほど細かい分析は行いませんが、県や市の調査では細かく分析し、児童・生徒の実態に合わせて教科ごとに活用をしています。

(沼田学校教育課主幹)

埼玉県の学習状況調査の分析によると、所沢市の課題としては、小学5年生では予習復習、自分の考えを発表、勉強が好きという項目については、埼玉県の数値を若干下回っております。中学2年生においても、勉強が好きという生徒が若干下回っている状況でした。その課題解決のために、授業改善に大きくねらいを当て、目標の明確化と考えや発問の工夫をして、自分の考えを自分の言葉で発表できるようにしよう、という学び改善プロジェクトの取り組みを積み重ねているところです。

(齋藤学校教育部次長)

学力向上の関係ですが、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて学び改善プロジェクトが行なわれます。この学び改善プロジェクトにおいて、平成21年1月に所沢市の学力向上をどのように進めていくかを考えて、学校での具体的な取り組みや家庭での具体的な取り組み、地域での

具体的な取り組みを審議し、学力向上に向けた三つの提言としてまとめていただきました。それを平成23年度から数校ずつ学校で取り組んで、今年が最終年度で全部の学校が取り組むこととなります。

(吉本委員)

今年の中学から高校への進学先の各学校ごとの数字が出ていると思うので、教えていただきたいと思います。市内小中学校から市内の高校に進学している生徒も多いと思いますので、その高校の校長に生徒がどのように伸びていっているのか、できればお話を聞きたいと思っています。教育という流れの中で、ずっと子どもたちをこの町は追いかけているという意味を、常に持っていきたいと思っています。

(佐藤教育長)

県立高校の場合、管轄が県の教育委員会であり、市の教育委員会でアプローチをかけるのは一般的には難しい状況です。中学校では家庭教育学級というものを社会教育課でやっており、その講座の中に高校訪問というものを入れています。そして、家庭教育学級に属している保護者が、高校に行ってお話を聞けることができるようになっています。しかも、複数校回れるようになっています。そのような形でのアプローチは可能です。ただし、単独でということになりますと、高校の指定する学校訪問日にご家族で行くことしかできませんが、県立高校であれば、市の教育委員会委員として学校を訪問することは、幼稚園や小中学校を訪れるような感覚でできると思います。

(中川委員)

学び改善プロジェクトについて、各校を回るのは今年度で最終ということですが、それが終わった後、また新たにプロジェクトを立ち上げるのでしょうか。

(齋藤学校教育部次長)

今年度行なわれる会議の中で、現在の状況を分析し今までの成果と課題を踏まえて、来年度以降どういう視点をもっていけばよいか、明確化していくこととなります。

(富田委員長)

今、タブレットを使った授業を行っている学校は、市内でありますか。あるいは、予算でタブレットの購入を考えているのでしょうか。

(北教育総務担当参事)

今年度の予算で、中学校のパソコンの入れ替えを予算化していただきました。その中で、タブレット型のパソコンを導入する予定で調整しております。

(富田委員長)

何台ぐらい導入する予定ですか。

(北教育総務担当参事)

全校に41台ずつ導入する予定です。

(富田委員長)

タブレットを使った授業をするための研修会は行いますか。

(横須賀教育センター担当参事)

7月5日に情報モラル研修会、7月29日に情報機器活用研修会があり、電子黒板・教材提示装置を活用した授業の工夫とワークショップ、レゴマインドストームとタブレットパソコンを活用したロボットの学習というものを行う予定です。12月25日には授業・校務で使うパワーポイント研修会があり、パワーポイントの基本的な使い方について研修を行い、年3回の研修を行う予定です。

(中川委員)

それは、先生方が対象となる研修ですか。

(横須賀教育センター担当参事)

そのとおりです。

(齋藤学校教育部次長)

一昨年、他市の視察を行っており、タブレットを使ってどのように授業を行うか、先進的な事例を参考にしながら検討していきたいと思えます。

(佐藤教育長)

予算的にかなり縮小しており、実はインターネットに繋ぐランを引くための予算が取れていません。

(北教育総務担当参事)

コンピューター室など限られた場所では、無線のランが飛ぶようになっていますが、一般教室ではランが飛ぶような形にはなっていません。

(佐藤教育長)

最新のものを最新の技術を使っていこうとする時に、インターネットが繋がらない所があるというのが課題になっています。これをやらないというのではなく、やるためには予算が必要であり、予算獲得のため教育委員を含め大いに努力をしてほしいと思えます。

(吉本委員)

特別支援学級の生徒に対する特別なプログラムというのは、ないのでしょいか。

(横須賀教育センター担当参事)

各学校でその児童に合った特別なカリキュラムを作成しており、各担当でプログラムを組んでいます。特別支援学級設置校では、特別支援学級及び通級指導教室設置校連絡協議会で研修を進めています。

(吉本委員)

新聞などでは、だいぶ効果があると記事に書かれていましたので、所沢市でも是非頑張ってくださいと思います。

- ・ 教育委員会 6月定例会： 6月19日（水）午後2時00分～
教育センター
- ・ 教育委員会 7月定例会： 7月24日（水）午後1時30分～
602会議室

11 閉 会 午後4時13分